

市長就任のご挨拶



土浦市長 中川 清

プロフィール

昭和20年 土浦市生まれ 66歳
土浦第一高等学校、慶応義塾経済学部卒
大学時代はラグビーに熱中
健康のため、時間を見つけてジョギング
信条「男は強くなければ生きていけない、
やさしくなければ生きる資格がない」

この度の市長選挙におきまして、市民の皆様から負託をいただき、引き続き市政運営に携わることになり、これまで以上に与えられた責任の重大さを痛感しております。3期目となりますこの4年間は、土浦市にとりまして、次の世代に引き継いでいくための新たな礎を築く極めて重要な時期になりますことから、本市のまちづくりの指針となる「第7次土浦市総合計画」に基づき、全力で市政の運営に取り組む決意でございます。

旧新治村との合併から6年目を迎えて、地域の一体感が醸成される中、市役所庁舎や新図書館、消防本部庁舎、市営斎場の建設、小町の里の整備など、合併特例債事業に位置付けております10事業につきましては、これらの円滑かつ効果的な推進により、中心市街地の活性化はもとより、土浦市全体の都市活力の増進に全力で取り組んでまいります。

そして、私のまちづくりの基本姿勢である「行財政改革による市民サービスの向上」と「協働のまちづくりの推進」への一層の取組を進めてまいります。

これまで2期8年にわたり、徹底した行財政改革を推進し、その結果、本市の財政力を示す指標は、一定の健全性を維持している状況にあると考えています。これからも、県内で初めて実施いたしました事業仕分けで学んだノウハウなどを生かしながら、全庁を挙げて行財政改革を推進し、強固な「市役所力」を培ってまいります。

また、未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、これまでの山積した課題を一つひとつ乗り越えることができたのは、「協働」の精神をもって御尽力をいただきました多くの市民の皆さまの御理解と力強い御支援があつてのことであります。

改めて、土浦市民が有する「地域力」の無限の広がりを実感しているところです。

グローバル化、少子高齢化、人口減少社会の進展など「変革の時代」にあつて、これら「地域力」と「市役所力」をさらに強化・結集し、市民の幸せ度のアップと持続可能なまちづくりに全身全霊を傾けてまいりますので、市民の皆さまには特段の御理解と御協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。